

桃青



漆貫入彩白磁大壺 H39 x W42 x D41 cm

氏家昂大 個展

会期：2023 年 2 月 3 日（金） - 2023 年 2 月 25 日（土）

桃青京都ギャラリー

〒604-0924 京都市中京区一之舟入町 375 SSS ビル 1 階

開廊時間：11:00-18:00 定休日：日・月

※最終日 16:00 閉廊

桃青

プレスリリース

桃青京都ギャラリーでは、氏家昂大による初個展を開催いたします。本展では、大壺、茶器、酒器、花器、湯呑、香合、蓋物など大型作品から小作品までの幅広い新作約 100 点を展示いたします。

現在、岐阜県多治見市を拠点に作陶している氏家は、2022 年にイギリスで個展を開催するなど着実に活躍の舞台を広げており、国内外で大きな注目を浴びています。

土や色漆などの素材、貫入や梅花皮といった伝統的な表現手法をベースにしながらも、デザイン性を融合させた氏家の作品は、観る者の目を一瞬で引きつけ、用途性のある陶芸作品の枠を超えた華やかさを演出します。

氏家の作品の見所は、貫入に色漆を染み込ませる「漆貫入彩」によって生み出される独創的なデザインにあります。この技法によって生命の息吹を吹き込まれた作品の表面には、まるで毛細血管や葉脈を想起させる繊細な表情が現れると同時に、作品を手にとると優しい温もりが伝わってきます。さらに、有機的なフォルムがダイナミックで心に響く力強い印象を与え、白磁にうっすらと浮かぶ淡い色合いや織部の作品に施された艶やかで鮮やかな色彩のハーモニーと相まって、存在感溢れる現代的な造形作品としての魅力も提示しています。

30 代前半という若い感性が生み出す作風が、今後ますます進化していくことを期待せずにはられません。関西初個展となる本展を通して作家独自の美的感覚を活かした造形表現をご高覧いただけますと幸いです。

作家紹介



桃青

1990 年 宮城県仙台市生まれ

2013 年 東北芸術工科大学芸術学部美術科工芸コース 卒業

2015 年 東北芸術工科大学大学院芸術文化専攻工芸研究領域 修了

同年、宮城県柴田郡にて制作開始

現在、岐阜県多治見市で制作

個展

2019 年 銀座一穂堂(‘22) (東京)

2021 年 日本橋高島屋 S.C.(‘23) (東京)

ぎやらりい栗本 (新潟)

2022 年 The Stratford Gallery (イギリス)

画廊 文錦堂 (岐阜)

2023 年 桃青京都ギャラリー (京都)

Ippodo Gallery New York (アメリカ)

アートフェア

2022 年 Design Miami (アメリカ)

ぜひ、貴誌・貴社にてご紹介いただくと幸甚に存じます。
掲載用、写真の貸出などご質問がございましたら下記までご連絡頂けると幸いです。

桃青京都ギャラリー

担当: 浅野達也

〒604-0924 京都市中京区一之船入町 375 SSS ビル 1 階

asano@gallerytosei.com

Tel: 075-585-5696 Fax: 075-585-5695